

千厩町に住む千葉和人さん(32)、仁美さん(33)夫妻。仁花ちゃん(5)、桜和子ちゃん(3)とおなかに3人目の

**みんなで支える子育て**

「私が子育てをしていた時代より、子育てを真剣に考える親御さんが増えたように感じます。子育てと真摯に向き合う分、悩みや不安が多いのかもしれないですね。現在、少子化対策や核家族化を配慮したさまざまな子育て支援制度や施設が充実しています。積極的に活用してほしい」と話します。

一人で子育てをするのは、大変でつらいことが多いかもしれません。子育てを一つ外へ踏み出してください。そこには、同じような気持ちを抱える人や子育てのヒントをくれる人がいます。悩んでいるのは「あなただけじゃない」のです。「私だけじゃない」と気づくことは、楽しい子育て生活を切り開

くための鍵です。  
**地域でハグくむ子育て**  
抱きしめることを表す「ハグ」は、親密さや愛情を相手に伝えるコミュニケーション手段のひとつです。目では見えない、言葉では伝えることが難しい「愛」。だからこそ、ハグは愛情を伝えるために必要なのです。それは地域にとっても同じこと。子育てに奮闘する家族を地域全体でハグする。子育てに悩む人を包み込む。心配してくれる人がいる、気にかけてくれる人がいることは、子育てに不安を抱える人にとって大きな支えになります。

子供は笑顔には、周囲の人たちまで元気にしてしまう力があります。そんな子供たちの笑顔をつくるのは、たった一つの家族です。そして、その家族を支えるのは地域です。未来を担う子供たちを育むことは、こころの未来を育むことにつながります。家族で、地域で、まち全体で子供たちの幸せを育みましょう。

家族で、地域で、まち全体で  
は **HUG** くむ子育て  
は **HUG** くむ未来

**変化した子育て環境**

核家族化が進む現代、近隣の子供の守りをしたり、近所の人と家族ぐるみで付き合ったりすることが少なくなりました。「子育ての仕方がわからない」「夜泣きがひどい」「どうやって叱ればいいんだろう」。子育ての悩みや不安があっても、身近に相談できる人がいないことも少なくありません。

子がいます。「仁花が生まれたときは、何もかもが初めての経験で、戸惑ってばかりいました」と振り返る仁美さん。「私の場合、幸いたくさんの人たちに恵まれました。相談のつてくれたり、アドバイスをくれた同級生や義姉。仕事中に子供たちを見てくれた夫の家族や実家の両親。そして、献身的に支えてくれた夫。おかげで、楽しんで子育てをしています。誰か一人でも悩みを相談したり、共感してくれる人がいるだけで、心強くなります。子育ては簡単なことではないけど、つらいことでもないんです」。わが子を見つめる目には、愛と優しさが宿っています。

**地域でハグくむ子育て**

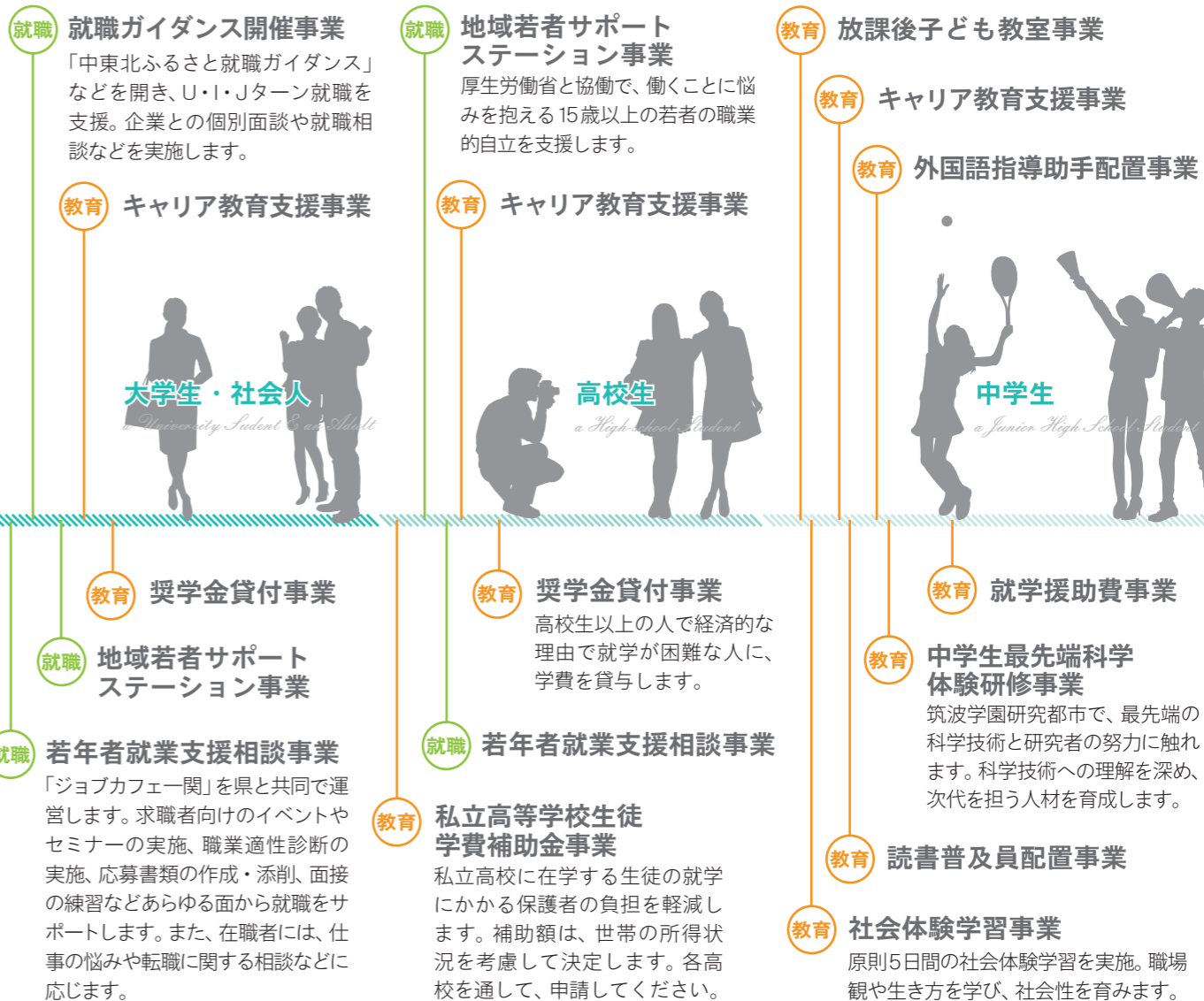
くための鍵です。

**子育て世帯臨時特例給付金**  
申請を受け付けています



消費税率の引き上げに伴い、子育て世帯への給付金を支給します。未申請の方は申請してください。  
●対象者…26年1月分の児童手当受給者  
\*前年の所得が、児童手当の所得制限額を超える人を除く  
●対象児童…26年1月分の児童手当対象の児童 \*臨時福祉給付金の対象者と生活保護

制度の被保護者を除く  
●支給額…対象児童1人につき1万円(上限)  
●申請期限…9月30日  
●申請方法…郵送または下記へ提出  
\*申請先は、基準日(26年1月1日)時点で、住民票がある市町村です  
●本庁児童福祉課 ☎8357 または各支所 保健福祉課



**就職ガイダンス開催事業**  
中東北ふるさと就職ガイダンス  
ガイダンスは、一関に眠っている優秀な人材を発掘できる機会です。互いが求めている雇用の条件を話し合えるので、定住や定着にも結び付くと思います。就活生や求職中の皆さんには、積極的に参加してほしい。

世徳の一酒蔵株式会社 佐藤航 代表取締役社長

**中学生の社会体験学習事業**  
市役所で社会体験学習  
市政情報課の社会体験学習で、取材に行ったり、記事を編集したりしました。体験を通して、社会人としての人との関わり方やビジネスマナーを学びました。働くことは大変ですね。将来は人の役に立つ仕事がしたい。

高橋南々花 花泉中2年